

難病患者の公費負担医療「見直し」による打ち切りを
中止することを求める意見書

政府・厚生労働省は、来年度にもパーキンソン病と潰瘍性大腸炎の患者計 9 万人近くを補助対象から外す計画を進めています。

難病は原因不明で根本的治療もなく、医療費の負担も重く、しかも病気で失職する人が多く、患者は補助がなくなれば高額な医療費が生活を脅かし、病状悪化に直結します。進行性の病気なのになぜ認定から外そうとするのかという患者・団体の切実な声、医療費補助が唯一のセーフティーネットで生命線という実態を踏まえ、パーキンソン病と潰瘍性大腸炎等の難病患者の公費負担医療見直しを中止することを、強く要望するものです。このことは、難病 2 疾病だけの問題ではなく、他疾病の医療全体の縮小にもつながる重大な問題と受け止めていただきたく要望するものです。

以上、地方自治法第 99 条の規定により意見書を提出いたします。

平成 18 年 12 月 15 日

名取市議会議長 大友 廣 嗣

内閣総理大臣 殿

衆議院議長 殿

参議院議長 殿

厚生労働大臣 殿